

この暴挙許すな。 不屈に闘う 反対同盟を守れ

日刊 動労千葉

84. 9. 29

No. 1754

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

10/10の大爆発を予定

政府・空港公団は、9月25日早朝、権力機動隊を前面におしたてて用水工事の強行着工をおこなってきた。これに対して反対同盟は、全国の支援の労働者、学生と共に実力阻止闘争に決起し、権力機動隊との対決に前面に立ち、身をもって闘いぬいた。こうした闘いにあせりかられた権力機動隊は、27日未明、当日予定されたユニボ（発削機）の搬入道路に抗議に集まった反対同盟と支援に対して突如として襲いかかり、あらんかぎりのテロ・リンチをおこない、あぐくに、反対同盟の役員五名と支援の仲間あわせて二四名を不当にも逮捕したのである。

「10・10」の総決起でこたえよう！！

この流血の大弾圧こそ、反動・中曽根の「戦後政治の総決算」の正体であり、それを体現してきた証左である。われわれは、こうした危機故の権力機動隊のテロ・リンチと、これを強行させた反動・中曽根を満腔の怒りをこめて弾劾しなければならない。同時にこのような機動隊を先頭としたテロ・リンチ、不当逮捕の許すことのできない大弾圧にもめげず、ますます強じんしに団結をうち固め意気軒昂と闘いぬくことを決意し、宣言した反対同盟を何んとしても守りぬかなければならない。それは、この闘いこそがわれわれ自身の闘いでもあるからだ。さらに、これは二期強行着工にむけた布石であり、だとすればわれわれは、せまりくる「10・10現地全国集会」に「3・25」を上まわる総力決起で敵に対する闘う者の回答としなければならない。「10・10」に総力をあげて決起しよう。

直ちに激励行動を展開しよう！！

かつて動労千葉の一〇〇日間におよぶジェット闘争をはじめ、82年6・12の権力・動労「本部」革マル一体となった弾圧に対して、身をていしてか

☆ 不当逮捕された反対同盟（◎印）の家族に激励の手紙・電報を！

◎ 市 東 東 市 氏（大楯で頭を割られ重傷。9/28釈放→即入院）
（激励先） 成田市天神峰42 現地闘争本部気付

◎ 伊 藤 し の ぶ 氏
（激励先） 伊 藤 信 治 様 山武郡芝山町大里字白枅

◎ 萩 原 勇 一 氏
（激励先） 萩 原 み つ 子 様 山武郡芝山町菱田1442

◎ 鈴 木 幸 司 氏
（激励先） 鈴 木 イ ト 様 山武郡芝山町菱田920

◎ 萩 原 進 氏
（激励先） 萩 原 シ ズ エ 様 成田市東峰107

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！！